

会 社 名：株式会社 小糸製作所  
 代表者名：取締役社長 大嶽 隆司  
 (コード番号 7276 東証第1部)  
 問合せ先：専務取締役 大嶽 昌宏  
 TEL (03) 3443 - 7111

## 中間業績見通しのお知らせ

### 1. 平成17年 3月期 連結中間業績見通し(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

#### (1) 業績の概要

(単位:百万円)

	前中間期 (平成15年4月1日 ～平成15年9月30日)	当中間期 (平成16年4月1日 ～平成16年9月30日)	比 較		参 考	
				指 数	当初予想 (4月26日)	修正予想 (7月27日)
売 上 高	145,633	163,429	17,796	112.2%	153,900	162,500
営 業 利 益	2,821	5,685	2,864	201.5%	4,100	5,600
経 常 利 益	3,508	6,388	2,880	182.1%	4,400	6,300
当 期 利 益	1,543	3,116	1,573	201.9%	1,900	2,900

#### (2) 前年同期比較の増減益要因

・売上高は、前年同期に比較し、177億円(前年同期比 112%)の増収となる見込みであります。  
 その増収の主なものは、地域別では 日本 50億円(同 105%)、欧州 35億円(同 168%)、  
 中国 18億円(同 124%)、タイ 13億円(同 138%)であり、他のアジア各国、米国とも各々増収となります。

・営業利益は、前年同期に対して28億円増加の56億円と、2倍の大幅増益となる見込みであります。  
 その主な内訳は、日本 13億円(同 205%)、北米 6億円(同 374%)、中国 2億円(同 134%)であり、  
 加えて欧州は、当中間期予想では 若干の営業損失となるものの、前年同期比較では、7億円強の  
 大幅な収益改善を見込んでおります。

また、営業利益 28億円増加の要因は、売上の拡大で 18億円、合理化効果により 10億円を  
 見込んでおります。

更に、この内訳については、日本はトヨタをはじめとする自動車生産台数増加に伴う、売上の拡大によるものであります。海外については、北米ではノースアメリカライティングインクの第3工場の本格稼働により、生産性向上等の合理化効果で 4億円の増益、欧州においては、コイトFIS.r.oの本格稼働と、コイト-ロッシリミテッドの改善合理化により 4億円の増益となる見込みです。

2. 平成17年 3月期 単独中間業績見通し(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

(1) 業績の概要

(単位:百万円)

	前中間期 (平成15年4月1日 ～平成15年9月30日)	当中間期 (平成16年4月1日 ～平成16年9月30日)	比 較		参 考	
				指 数	当初予想 (4月26日)	修正予想 (7月27日)
売 上 高	79,660	84,994	5,334	106.7%	80,100	83,900
営 業 利 益	1,707	3,150	1,443	184.5%	1,800	2,900
経 常 利 益	3,845	5,305	1,460	138.0%	3,800	4,900
当 期 利 益	2,267	3,157	890	139.3%	2,300	2,900

3. その他

・通期業績予想につきましては、連結・単独ともに中間決算発表時に改めて発表する予定ですが、国内外ともに堅調に推移している現状からすれば、当初予想を十分上回ると考えております。

・今後は、タイにおけるIMV車用ランプの本格生産、中国をはじめとするアジア各国における拡大/成長と、欧州での新規受注による売上増大、収益改善等が期待されます。

以 上